

2014年度理事長
安部 昭一郎

美しい国、日本。その瀬戸内の中央に位置する風光明媚なまち。この国の歴史と共に古（いにしえ）より海路の要商都として発展し礎を築きし尾道。今日では歴史、文化、景観を求め多くの観光客の訪れるまち尾道。

日本広しと言えども、この尾道にしかない景色は、都会の喧騒を忘れさせ、昔前の懐かしさも感じさせます。訪れし人々は、このまちを歩き、ひとに触れ心癒され、いつの間にか心満たされています。明るく、心豊かにさせる、そんな「輝き」を尾道は放っています。

素晴らしいまち、尾道に我々は生かされていることに感謝し、まちがそうであるように、我々も「輝き」を持ち放てる人間でありたいと願い、目指していきます。

青年会議所は、成長の機会を与えてくれる組織です。与えられた役職を全うする中で、事業を作り上げていく中で、その機会は様々な所で現れてきます。但し、それは自らが積極的に青年会議所活動に携わる事が前提です。そして、個々の意識がいつもPOSITIVEである事が肝心なのです。何より我々には、まだまだ成長して行ける潜在能力を有しています。絶対今以上の成長をするのだ！という確信を以って取り組み、必ず青年会議所は期待に届いてくれます。

青年会議所がサロンでない以上、友情も事業を通して以外では育めません。青年会議所が掲げる奉仕・修練・友情、これら全てが青年会議所活動の中で得

ていくものであり、必ず自分の財産として還ってきます。

青年会議所活動には、大きく分けて、「まちづくり」と「ひとづくり」があります。そのどちらにとっても大切な事は、確りと「本質」を見抜いて行動して行く事です。今、なぜ、どうして、何のために、いつまで、こういった行動を我々は行うべきなのか、その問い掛けを日々行うべきです。そのためにも、本年度は、会員の資質向上が重要と考えます。JAYCEEとしての素養、本質を捕らえる能力やリーダーシップ能力等の人間力アップを確りと図ります。全てに於いてPOSITIVEに考えチャレンジするメンバーを育成し、より個々が輝きを放てるように、組織として、メンバーが成長する機会を提供します。

「まちづくり」は青年会議所活動の根幹です。まちのため、地域の皆様のため、必要とされている事をいち早く調査、研究する事が肝要です。その結果、我々の活動で終る事が無いように、確りと運動に繋げ、まちに還元していく事を望みます。同時に、「まちづくり」では、ビジョンを描き続ける事が必要です。未来を想い、尾道の財産（人・物・歴史・景観・文化）を通じて展開する運動を先んじて思考し、活動に移していきます。

「ひとづくり」においては、地域の皆様と協働し、将来を担う子どもたちを確りと育む事も我々の使命です。誇れる日本、美しい日本を愛する事、何より故郷尾道を心から大好きなひとを増やしていく事で、まちに賑わいをもたらすし更に輝かせていく事になるでしょう。また、会員拡大も最重要課題に挙げられます。新入会員の獲得の際、一番重要なポイントは、勧誘する人間の人間力です。つまり、JAYCEEとしての「輝き」が次のJAYCEEを誘います。自身の成長が、仲間を集め、また集め

た力をまちづくり、ひとづくりの源泉として有機的に成長していく事ができます。心に、まちに、ひとに蒔かれた種は、尾道の地に大なる実りをもたらす事でしょう。

O.B. 会員・特別会員の皆様、現役会員そして会員家族の交流も大切な事です。我々会員は幾人もの方々に支えられている事を忘れてはなりません。一隅を照らす人間が国の宝です。まず自分の足もとに光をあて、家族、仲間、地域に光を当て、輝きを放つ人間を目指しましょう。

我々の活動は多くの方々に認知、共感される必要があります。JC活動がJC運動に伝播されていく過程で、情報発信・情報戦略は欠かせないファクターです。この混沌たる情報社会の中からこそ、日夜発信し続けていく気概が必要になります。何より、会員ひとりひとりが広報発信装置である事を自覚し忘れてはなりません。更に市民の方々や他団体との交流は勿論の事、志を同じくする各地青年会議所メンバーとの交流を通ずる事で更なる情報共有に繋がります。戦略的な情報発信で、事業の効果を倍増させ、尾道への憧れを喚起することで、LOMのため、如いてはまちの新たな「輝き」を創造する取組みとします。

我々JAYCEEひとりひとりが「POSITIVE MOTIVATION」で行動し、個々の輝きと運動の輝きが共鳴する時、一般社団法人尾道青年会議所の輝きは、ふるさとを強い未来に導きます。そして、古の迷える旅人を救った尾道の灯台の如く、混沌を深める現代社会において、この尾道の地から、人間を輝かせる多くの運動を発信し、我々自身が、人間を磨き、地域を輝かせ、日本を救う道標（みちしるべ）になる必要があるのです。

尾道青年会議所として、いざ「輝き」を放とう!!

初詣

1月4日、時折風花が舞う中、正副理事・事務局メンバーが艮神社に初詣に行つてまいりました。光輝燦然とした顔色で全員が新鮮な気持ちに満ち溢れ、2014年度の船出となりました。（記事・武田大俊）

理事長 新年のご挨拶

第58代理事長
安部 昭一郎

新年明けましておめでとうございます。一般社団法人尾道青年会議所は、テーマ「輝き」POSITIVE MOTIVATIONのもと、94名の会員をもって2014年度をスタート致しました。

本年度は、会員全員でJAYCEEとしての個々の成長を意識し、すべてに於いて前向きに取り組んで参ります。会員それぞれの潜在する力を引き出し、磨き上げ、その若い力で尾道のまちづくりやひとづくり、事業に取り組んで参ります。そして、その活動・運動を展開する中でさらに成長した会員が、次の活動・運動へと邁進して行くという「正」のスパイラルを構築し、地域社会のお役に立っていきたく存じます。会員ひとり一人が今まで以上に輝けば、自ずと「まち」が「地域」が、「日本」が輝きを増していき、この尾道から明るい豊かな社会への実現に貢献していくことができるはずなのです。

私も理事長として1年間、千支である馬の如く最後まで先頭を走り貫けていきたいと存じます。どうぞ本年度もご支援・ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

輝くまちづくり委員会

委員長 青山 暢克

テーマ『興味を持って』

私は昨年理事選挙に当選し、委員長という大役を頂いてから、楽しみ半分、不安半分の中過して参りました。しかしながら、今までお世話になった先輩方の事業に取り組む姿勢や、情熱を思い返すと、このことをしっかりと委員会メンバーに伝えていかなければいけないのだと、改めて考える時間でありました。そのためには、やはり自分自身が率先して、しっかりと考え、実行に移して、メンバー一丸となって事業に取り組んでいきますので、皆様どうぞ1年間宜しくお願い致します。

輝き溢れる教育推進委員会

委員長 石森 良

テーマ『教うるは学ぶの半ば』

明けましておめでとうございます。

本年度、輝き溢れる教育推進委員会委員長を仰せつかりました石森良です。

「教うるは学ぶの半ば」というテーマの下、自分達が成長できる一年間にしていきたいと思います。一度きりしかない2014年度を委員会メンバーと共に力を合わせて頑張っていこうと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

JAYCEE交流推進委員会

委員長 福田 隆一

テーマ『考動力』

皆様、新年明けましておめでとうございます。委員長の福田でございます。JAYCEE交流推進委員会が掲げたテーマは「考動力」。会員の皆様との絆をどのように深めてゆくか、委員会メンバー全員で、考え、動いて参ります。今年は午年です、ヒィー。最後まで、明るく、楽しく、元気よく、鼻息荒く走り抜けたと思います！皆様どうぞお体にはご自愛いただき、今年一年よろしく願いいたします！ 感謝

輝くJAYCEE育成会議

副議長 政成 啓行

テーマ『挑戦』

輝くJAYCEE育成会議 副議長を仰せつかりました政成です。

当会議体は村上議長・麻生副議長を初めとするメンバーと共に、会員の資質向上を目的とした事業を展開していきます。JAYCEEの資質とは何か・如何にして向上させるかを会議体メンバー全員で考え、皆さんが輝けるように発信していきたいと思ひます。今年1年間、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

編集後記

総務広報委員会 委員長 三谷 彰紀

いよいよ始まりました、2014年度尾道青年会議所。皆様も気持ちを新たに新年を迎えられたことでしょう。

さて、今年最初のJCライブ、いかがだったでしょうか？1月ということも、昨年は振り返ってみました。いろいろあったな。そして今年を思ってみました。またいろいろあるな。今年一年、そんな色とりどりの尾道青年会議所を、実り多き「JCLIFE」を存分に伝えていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。

最後に、皆様のご健康とご多幸とご愛読をこそより祈念申し上げ、新年号締めさせていただきます。 それでは！

2014年 輝く 委員長あいさつ

輝く未来創造委員会

委員長 山北 真也

テーマ『魅するまちへ』

明けましておめでとうございます。

本年度、輝く未来創造委員会の委員長を仰せつかりました山北と申します。当委員会では、「尾道の財産を活かした魅力開発・発信事業の調査・研究」「次代に輝く経営者の育成事業の調査・研究・実践」を担当致します。どちらも一から事業を組み立てて行くという事で、大変ではありますが、せっかく頂いたこの機会を成長の機会と捉え、委員会メンバーのみなさんと共に、この一年間を楽しみながら、そして一生懸命に活動して参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

JAYCEE拡大委員会

委員長 池田 憲泰

テーマ『はじめの一足』

JAYCEE拡大委員会 委員長の池田憲泰です。

今年は20名の拡大を目指します!!

明るい豊かな尾道の実現のために、ともに切磋琢磨し、輝き溢れるメンバーをどんどん増やしていきましょう。

今年は各委員会を担当者が訪問いたします。どんな些細な情報でもかまいません。どんどん情報をください。

喜んで同行しますのでお声掛けください。率先して拡大活動をしてまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします!!

総務広報委員会

委員長 三谷 彰紀

テーマ『意気揚々』

皆様、あけましておめでとうございます。本年度総務広報委員会委員長を務めます、三谷です。すばらしいメンバーが集まったこの委員会で、「意気揚々」のテーマを胸に、いつでも前を向いて楽しく進んでいきたいと思ひます。

そして、ついに本格始動した2014年度尾道青年会議所、総務として、また広報として「会員皆様のために、会員皆様とともに」の精神で精いっぱい尽力してまいりますので1年間どうぞ宜しくお願い致します。

事務局

セクレタリー 吉原 敏兼

皆様明けましておめでとうございます。本年度理事セクレタリーを仰せつかりました、吉原です。1年間どうぞよろしくお願い致します。

初理事事ということでプレッシャーを感じていますが、セクレタリーの川崎君、島田君とともに、会員メンバーの皆様がJC活動を円滑に行えるよう取り組み、その中で1人1人が「輝き」を放てるよう邁進してまいります。

最後に、皆様には1年間お願いごとやご迷惑をおかけすることがあると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

シニアクラブ会長 新年のご挨拶



尾道青年会議所シニアクラブ
会長 福井 弘

平成26年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
シニアクラブの運営には、いつも力強いご支援、御協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。本年も、よろしく御願い致します。
我が国の経済は、アベノミクスにより将来に希望がもたらされ、海外経済の緩やかな持ち直しや、円高修正もあり、デフレ脱却の絶好の機会を迎えております。
我々は成長経済への移行を確実にし、持続的な成長を創り出していくプレーヤーをめざしていかなければならないと思います。

当地でも、製造・非製造業ともに、平成24年7～9月を底に、若干ではありますが回復傾向にあり、特に基盤産業であります造船業界の2014年問題に付いては、大変危惧していましたが、円高も是正され、受注は一定水準を確保されたと聞いており、一安心しています。今年は、アベノミクスの効果が一日も早く全業種に及ぶことを期待しています。
幸いにしておのみちは、全ゆる面で大きなチャンスを迎えており、今年は尾道の政・経・民が力を合わせ、力強い第一歩を踏み出さなければいけません。
風格と情緒ある、個性を持った発展をめざし、守るべきものを明確に意識しつつも、将来に向かって積極的に変化を求め、未来に向けて希望が持てる、元気な尾道をめざしたいと思っています。

尾道の活性化の主役は、中小企業であってほしいと思います。今、中小企業の青年経済人の集いである尾道青年会議所が、他LOMの青年会議所より元気なことは、とても頼もしさを感じております。

昨年は、高橋理事長を中心に元気な尾道の創造をめざして、全力ですばらしい活動をされました、御苦労様でした。
今年の安部理事長は、皆さんに人間を磨き、地域を輝かせ、一層の輝きを放とうではないかと言われています。安部理事長の指針こそが、今年の尾道には最も大切なことだと、私も思います。シニアクラブとしても、力強い支援をしたいと思っています。
現役の力強い活躍と、シニアクラブメンバーの協働で迎えた新年が、尾道にとってすばらしい年になる様祈念し、年頭に当たっての挨拶とさせていただきます。

12月例会 卒業例会



12月16日、尾道国際ホテルにて2013年度の最後の事業となる12月例会（卒業例会）が行われました。
テーマは「ここにいる、証」想いを重ねて、卒業生の皆さんのこれまで活動してきた証を胸に刻み、ともに歩んだ時間に想いを重ねることが出来た日となりました。
当日は多くのOB・特別会員の皆様と現役会員で共に卒業生の皆さんの新たな門出を祝福することが出来ました。
河井先輩、榎原先輩、坂本先輩、手塚先輩、寺下先輩、濱中先輩、平林先輩、西本先輩、村上先輩、ご卒業誠にありがとうございます。皆様の更なる飛躍と今後のご活躍をお祈り致します。
（記事・勝島達）



三浦雄一郎氏講演会

夢いつまでも

12月6日に行われました三浦雄一郎氏の講演会では会員皆様に大変お世話になりましたこと、厚く御礼申し上げます。三浦雄一郎さんの力強くも優しいお言葉一つひとつに感動し、心の底から湧き上がる程の勇気を頂きました。夢いつまでも・・・頂いたこのお言葉を胸に深く刻み込み、これから待ち受けるであろう多くの山に挑み続けようと思います。チケットの販売や当日の運営にご尽力いただきました会員皆様に重ねて御礼を申し上げます。ご報告とさせていただきます。
（記事・村上 忠正）



西國寺大わら草履奉納

去る2013年12月15日（日）10時より、西國寺仁王門にて大わら草履の掛け替え奉納が行われました。法要を終え、平谷市長、高橋（2013年度）理事長からの挨拶も終わり、大わら草履から白布が取られお目見えとなりました。それを見た瞬間、準備から1年余り、多くの皆様に支えられ、励まされ、時にはお叱りを受けながらもこの日を迎えることが出来たこと等思ひ出され、本当にうれしく思いました。この大わら草履が永く仁王門に奉られればと心から思います。ご協力くださいました全ての皆様に感謝申し上げます。
（記事・植原 勝）



クリスマス会

笑顔でおもてなし

12月8日（日）、グリーンヒルホテル尾道にてクリスマス会が開催されました。まずはオーブニングでのサンタクロースとトナカイによる少し過激なパフォーマンスで会場は大盛り上がり。そして、陽気な音楽にあわせてマジシャンのまほう氏が登場。見事なマジックと面白いトークに、子どもたちだけでなく、大人も夢中になって魅入っていました。
マジックの興奮も冷めぬ内に、お待ちかねのサンタクロースがトナカイとともに踊りを披露しながら現れ、子ども達にプレゼント。子ども達は嬉しそうにサンタさんにお礼を言っていました。
最後は家族みんなでお菓子を作るイベントが開催され、よりいっそう家族の絆が深まったように見えました。
JCメンバー、奥さん、そして子ども達。みんなに笑顔があふれる楽しい夜になりました。
（記事・中司 昌克）



桜植樹ファイナル

12月14日、東尾道西側土手に桜保存基金10周年記念、シンボル桜が植樹されました。前もって植えられた40本のソメイヨシノとともに、尾道にまたひとつ桜の名所が誕生した瞬間でした。桜の花が舞う中で、そこに集まるたくさんの笑顔が思い浮かびます。
桜保存基金マスタープランは本事業で終了となりますが、これまでに植えた桜すべては、今後も、尾道の桜として人々を魅了していくことでしょう。
（記事・三谷 彰紀）

